

歳入 193億9219万円

歳出 183億6119万円

平成24年度一般会計決算は、9月定例会で設置した決算特別委員会に付託され、9月2日、3日、4日の3日間で審査されました。

また、特別会計決算5議案については、所管の常任委員会に付託され、審査されました。

委員会での審査結果はいずれも「認定すべきもの」で、最終日の本会議での採決の結果、認定されました。

一 般 会 計

市 税

Q 市民税と法人市民税の増収の要因は。

A **税務課長** 税制改正によって年少扶養控除、特定扶養控除の上乗せ分が廃止されたことで、市民税は約1億8000万円の増収があった。また、法人市民税は全体的に業績が上向いて増収となっている。

Q 今後の見通しは。

A **税務課長** 市税の大勢を占める市民税は、納税義務者数の増減はあまりなく、大きな伸長の見通しはない。今後、納税義務者の高齢化の影響で減少してくることが課題となっている。

福 第 一 原 子 力 発 電 所 事 故 に 伴 う 損 害 償 金

Q 請求の内容は。

A **生活環境課長** 学校と保育所の給食用食材の放射能濃度検査に要した費用や放射能濃度測定機の購入費用等を請求し、約550万円の支払いがあった。

こ ども 医 療 費 助 成 事 業

Q 医療費負担の増額は。

A **子ども支援課長** 通院費用の

助成対象者を未就学児までといたが、24年10月に中学3年生まで年齢拡大した。登録者は約5000人から約1万人に増加し、医療費負担額は月額で、約840万円から約1800万円に増額している。

フ ェ ミ リ サ ー ポ ー ト マ ン ナ ー 運 営 事 業

Q 利用状況は。

A **子ども支援課長** 地域における子育ての相互援助を行う会員制の組織である。援助活動566件のうち、392件が保育所や幼稚園への送迎である。

利用会員は、24年度末で201人と徐々に増えている。

生 活 保 護 事 務 費

Q 生活保護受給件数が増えた理由は。

A **福祉政策課長** 扶養義務意識の希薄化による金銭的な援助が受けられない高齢者世帯などが増えている。また、長引く景気の悪化で就職先が見つからないなど、生活困窮者が年々増えている。

感 染 症 予 防 対 策 事 業

Q 子宮頸がんワクチン接種件数は。

A **保健センター所長** 22年以後、中学1年生から高校1年生までで1098件となっている。そ

のうち24年度の初回接種件数は中学1年生92件、2年生52件、3年生42件、高校1年生21件、特例の高校2年生2件で合計209件となっている。

母 子 保 健 事 業

Q 健康相談の対応は。

A **保健センター所長** 保健師が電話相談も行っているが、直接会って家庭の状況などを確認し、今後のフォローができるような訪問体制を組んでいる。

公 害 対 策 事 業

Q 大気汚染の相談の内容は。

A **生活環境課長** ほとんどが野焼きの相談である。放射能汚染による相談はない。

Q 空き家の雑草繁茂対策は。

A **生活環境課長** 雑草繁茂状況を早急に確認し、土地所有者等に対し、電話や手紙で敷地の適正な管理をお願いしている。

産 業 活 力 振 興 事 業

Q 祭りの補助金や動員数は。

A **産業振興課主席主幹** サマーカーニバルへ56万円、産業まつりへ200万円、桜まつりへ21万円を補助している。サマーカーニバルは2万人、産業まつりは4万人、桜まつりは1万人で動員数は年々増えている。

水 土 里 の ふ る と こ 推 進 事 業

Q 事業の内容は。

A **産業振興課長** 高倉地区の水辺、農村景観を市民等で守っていくことが趣旨である。農業用水路の護岸を自然に近い護岸にし、子ども達が遊べて、体験、学習できるような、せせらぎの空間を整備していく。

災 害 対 策 事 業

Q 学校の防災井戸水の活用は。

A **安心安全推進課長** 基本的に生活用水としての活用を考えている。

学 力 向 上 推 進 事 業

Q 学習支援員などの状況は。

A **学校教育課長** 小中学校に学習支援員13人、小学校に算数学向上支援員16人、学校図書館司書を小学校に8人、中学校に3人配置し、個に応じた指導や支援で大変効果をあげている。



サマーカーニバルでの阿波踊り